

# 出会いから結婚・子育てまでの切れ目ない支援のための 県民意識調査結果【概要版】

## 1 調査の目的

この調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない支援を推進していくうえでの基礎資料としていくことを目的として行ったものです。

## 2 調査の概要

- 調査対象：高知県内全域の18歳以上39歳以下の県民4,000人
- 調査期間：令和6年8月28日（水）～9月11日（水）[15日間]
- 有効回収数：1,514部（郵送回答1,110部／WEB回答404部） 有効回収率：37.9%

## 3 調査対象者の属性

- 性別：男性633人（41.8%）／女性870人（57.5%）／その他10人（0.7%）
- 年齢層：18歳～24歳499人（33.0%）／25歳～29歳329人（21.7%）／  
30歳～34歳376人（24.8%）／35歳～39歳308人（20.3%）

（無回答を除く）

## 1 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」等の環境について

【問1】 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか

① 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会か

- 「どちらともいえない」が35.8%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(26.5%)、「ややそう思う」(18.8%)、と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）の割合は23.7%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）の割合は39.9%となっている。

② 安心して「結婚」できる社会か

- 「どちらともいえない」が31.6%と最も高く、次いで「ややそう思う」(25.2%)、「あまりそう思わない」(21.5%)と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）の割合は33.9%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）は33.7%となっており、拮抗している。

③ 安心して「妊娠・出産」できる社会か

- 「どちらともいえない」が30.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(29.1%)、「ややそう思う」(18.0%)と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）の割合は、23.3%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）の割合は、45.4%となっている。

④ 安心して「子育て」できる社会か

- 「どちらともいえない」が32.2%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(26.4%)、「ややそう思う」(19.6%)と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）の割合は、25.3%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）の割合は、41.8%となっている。

【問2】 高知県が『こどもまんなか社会の実現』に向かっていると思うか

① 『こどもまんなか社会の実現』に向かっているか

- 「どちらともいえない」が41.7%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(28.2%)、「そう思わない」(15.1%)と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）の割合は、14.6%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）の割合は、43.3%となっている。

② こども政策が、こども・若者の意見を反映させたものになっているか

- 「どちらともいえない」が 44.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(27.2%)、「そう思わない」(17.3%)と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）の割合は、10.0%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）の割合は、44.5%となっている。

## 2 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取組について

【問3】 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために、特に力を入れるべき施策

- 「若者・子育て世代の所得向上」が73.2%と最も高く、次いで「子どもの預かりや保育サービス等の子育て支援策の充実」(42.7%)、「ワークライフバランスの推進」(33.1%)と続いている。

【問4】 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている各事業に対する認知度・関心度

### ① こうち出会いサポートセンター

- 本事業の認知度は、“知っている”が31.6%、“知らない”が67.2%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が57.7%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がない）」(23.6%)、「知らない（関心がある）」(9.6%)と続いている。

### ② 高知で恋しよ！！マッチング（県が運営する会員制のお引き合わせシステム）

- 本事業の認知度は、“知っている”が30.8%、“知らない”が67.9%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が59.4%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がない）」(22.3%)、「知らない（関心がある）」(8.5%)と続いている。

### ③ 高知で恋しよ！！イベント（県が運営する出会いイベント）

- 本事業の認知度は、“知っている”が30.0%、“知らない”が68.6%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が59.4%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がない）」(20.5%)、「知らない（関心がある）」(9.1%)と続いている。

### ④ 婚活サポーター（地域で独身男女のお引き合わせを行うボランティア）

- 本事業の認知度は、“知っている”が20.0%、“知らない”が78.3%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が67.8%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がない）」(15.3%)、「知らない（関心がある）」(10.4%)と続いている。

### ⑤ こうち子育て応援の店

- 本事業の認知度は、“知っている”が32.4%、“知らない”が66.2%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が43.6%と最も高く、次いで「知らない（関心がある）」(22.6%)、「知っている（活用したことがない：関心がある）」(13.8%)と続いている。

### ⑥ 高知の子育て応援サイト「こうちプレマnet」

- 本事業の認知度は、“知っている”が22.9%、“知らない”が75.3%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が51.5%と最も高く、次いで「知らない（関心がある）」(23.8%)、「知っている（活用したことがない：関心がある）」(9.4%)と続いている。

⑦ 高知家子育て応援パスポートアプリ「おでかけるんだパス」

- 本事業の認知度は、“知っている”が34.7%、“知らない”が63.5%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が44.6%と最も高く、次いで「知らない（関心がある）」（19.0%）、「知っている（活用したことがある）」（16.3%）と続いている。

⑧ 産後ケア事業（市町村事業）

- 本事業の認知度は、“知っている”が30.1%、“知らない”が68.4%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が44.6%と最も高く、次いで「知らない（関心がある）」（23.8%）、「知っている（活用したことがない：関心がある）」（15.7%）と続いている。

⑨ 地域子育て支援センター（市町村事業）

- 本事業の認知度は、“知っている”が46.8%、“知らない”が51.7%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が35.4%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がある）」（18.4%）、「知らない（関心がある）」（16.3%）と続いている。

⑩ ファミリー・サポート・センター（市町村事業）

- 本事業の認知度は、“知っている”が35.1%、“知らない”が63.1%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が43.6%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がある）」（20.7%）、「知らない（関心がある）」（19.6%）と続いている。

⑪ 子ども食堂

- 本事業の認知度は、“知っている”が67.7%、“知らない”が31.0%となっている。
- 「知っている（活用したことがない：関心がある）」が37.8%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がない）」（22.7%）、「知らない（関心がない）」（17.4%）と続いている。

⑫ 高知家の出会い・結婚・子育て応援団

- 本事業の認知度は、“知っている”が29.9%、“知らない”が68.7%となっている。
- 「知らない（関心がない）」が51.0%と最も高く、次いで「知っている（活用したことがない：関心がない）」（18.2%）、「知らない（関心がある）」（17.7%）と続いている。

【問5】 「高知で恋しよ！！マッチング」に関心のない理由

- 「結婚しているから」が29.3%と最も高く、次いで「結婚するつもりがないから」（16.6%）、「婚活してまで出会うことに抵抗感があるから」（16.2%）と続いている。

### 3 出会い・結婚について

#### 【問 6】 将来結婚したいと思うか

- 「いずれは結婚したい」が 50.6%と最も高く、次いで「結婚するつもりがない」(26.4%)、「5年以内に結婚したい」(15.4%)と続いている。

#### 【問 7】 どのようなきっかけで知り合いたいと思うか（もしくは、どのようなきっかけで知り合ったか。）

- 「友人や知人、同僚等の紹介で」が 59.5%と最も高く、次いで「学校や職場、仕事の関係で」(56.3%)、「学校・職場以外のサークルやクラブ活動、習い事で」(29.7%)と続いている。

#### 【問 8】 現在結婚していない理由

- 「適当な相手にまだめぐり合わないから」が 37.2%と最も高く、次いで「自分の収入が安定していないから」(32.2%)、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」(26.1%)と続いている。

#### 【問 9】 結婚相手に求める年収

- 「結婚相手の年収にはこだわらない」が 31.3%と最も高く、次いで「300万円以上」(19.2%)、「400万円以上」(18.3%)と続いている。

#### 【問 10】 出会いや結婚に関する必要な行政支援

- 「結婚生活を始める際の金銭的な支援（引越し費用や家賃への補助、祝金支給など）」が 59.5%と最も高く、次いで「出産・子育て・教育に関する情報提供（費用等の情報含む）」(46.2%)、「出会いを直接の目的としない多職種での交流の機会の充実」(44.6%)と続いている。

## 4 子育てについて

### 【問 11】 第1子を産みたい（欲しい）と思う年齢

- 「25～29歳以下」が41.3%と最も高く、次いで「30～34歳以下」（18.9%）、「年齢の希望は特にない」（10.9%）と続いている。

### 【問 12】 理想的な子どもの人数

- 「2人」が50.4%と最も高く、次いで「3人」（25.8%）、「0人」（10.6%）と続いている。

### 【問 13】 現実的に持ちたいと考えている子どもの人数

- 「2人」が49.0%と最も高く、次いで「1人」（16.9%）、「0人」（15.4%）と続いている。

### 【問 14】 理想的な人数の子どもを持たない理由

- 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が78.3%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立が難しいから」（45.7%）、「将来の社会に漠然とした不安があるから」（36.7%）と続いている。

### 【問 15】 理想的な人数の子どもを持てる環境

- 「子どもの進学における奨学金や教育費等の経済的支援が充実している」が52.7%と最も高く、次いで「子どもの医療費や保育料などへの経済的支援が充実している」（50.7%）、「仕事と家庭の両立に対する職場の理解や環境があること」（45.7%）と続いている。

### 【問 16】 理想的な人数の子どもを持つための自身の労働時間

- 「7～8時間未満」が26.2%と最も高く、次いで「6～7時間未満」（23.9%）、「5～6時間未満」（23.7%）と続いている。

### 【問 17】 保育所・幼稚園・認定こども園など子育てを支える施設の充実度

- 「どちらともいえない」が41.9%と最も高く、次いで「ややそう思う」（25.1%）、「あまりそう思わない」（16.8%）と続いている。
- “思う”（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した方）は、33.4%、“思わない”（「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した方）は、23.6%となっている。

### 【問 18】 子育てを支えるために施設に力を入れてほしいこと

- 「保育士などの給料を増やしてほしい」が48.7%と最も高く、次いで「保育にかかる費用を減らしてほしい。または無料にしてほしい」（47.4%）、「子どもの年齢に応じた安全で質の高い教育・保育をしてほしい」（36.5%）と続いている。

**【問 19】 妊娠期から乳幼児期の子育て支援に関して充実してほしい取り組み**

- 「子育ての負担を軽減する家事支援」が 42.5%と最も高く、次いで「子育ての仲間づくりや産後のリフレッシュになる産前・産後サポート事業」と「子育て支援センターの土日開所」が同率（31.0%）で続いている。

## 5 女性の活躍とワークライフバランスについて

### 【問 20】 女性が職場で活躍するために必要なもの

- 「職場に仕事と家庭を両立しやすい雇用条件が整っていること」が 76.2%と最も高く、次いで「女性の活躍と柔軟な働き方について、職場での理解・啓発が進んでいること」(48.5%)、「希望する職種に就くことができる機会を得られること」(41.7%)と続いている。

### 【問 21】 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な支援

- 「育児（配偶者の出産や学校行事への参加等）を目的とした休暇制度」が 58.5%と最も高く、次いで「育児家事支援に係る福利厚生制度の充実」(52.6%)、「柔軟な勤務時間の調整（フレックスタイム制や短時間勤務、時差出勤・テレワーク等）」(51.5%)と続いている。

### 【問 22】 男性の育児休業取得率の向上のために必要な支援

- 「上司・管理職等から積極的な取得を促す声かけ」が 33.3%と最も高く、次いで「育児休業の取得を後押しする助成金等の支援制度の拡充」(22.3%)、「職場復帰した際の職種やキャリアの保証」(21.7%)と続いている。

### 【問 23】 性別役割分担意識に関する経験

#### ① 小さい頃から食事や洗濯などの家事の手伝いをしている

- 「時々あった」が 48.4%と最も高く、次いで「なかった」(24.7%)、「よくあった」(21.5%)と続いている。
- “あった”（「よくあった」または「時々あった」と回答した方）は、69.9%となっている。

#### ② 親や親戚などから進学先について反対されたり制限されたりする

- 「なかった」が 74.7%と最も高く、次いで「時々あった」(12.7%)、「よくあった」(5.8%)と続いている。
- “あった”（「よくあった」または「時々あった」と回答した方）は、18.5%となっている。

#### ③ 親戚や地域の宴会で食事の支度やお酌をする

- 「なかった」が 56.3%と最も高く、次いで「時々あった」(23.5%)、「よくあった」(9.8%)と続いている。
- “あった”（「よくあった」または「時々あった」と回答した方）は、33.3%となっている。

#### ④ 恋人とのデート代を相手の分も負担する

- 「なかった」が 40.0%と最も高く、次いで「時々あった」(26.6%)、「わからない又は該当しない」(19.7%)と続いている。
- “あった”（「よくあった」または「時々あった」と回答した方）は、38.8%となっている。

⑤ 職場の飲み会で料理の取り分けやお酌をする

- 「時々あった」が 35.4%と最も高く、次いで「なかった」(27.7%)、「わからない又は該当しない」(20.3%)と続いている。
- “あった”(「よくあった」または「時々あった」と回答した方)は、50.3%となっている。

⑥ 職場で社員の食器類の片付けをする

- 「なかった」が 43.3%と最も高く、次いで「わからない又は該当しない」(23.2%)、「時々あった」(21.3%)と続いている。
- “あった”(「よくあった」または「時々あった」と回答した方)は、31.9%となっている。

⑦ 職場で来客にお茶を出す

- 「なかった」が 45.6%と最も高く、次いで「わからない又は該当しない」(25.7%)、「時々あった」(16.2%)と続いている。
- “あった”(「よくあった」または「時々あった」と回答した方)は、26.9%となっている。

⑧ 職場の掃除をする

- 「よくあった」が 31.4%と最も高く、次いで「時々あった」(25.2%)、「なかった」(21.9%)と続いている。
- “あった”(「よくあった」または「時々あった」と回答した方)は、56.7%となっている。

⑨ 職場で、育児中であることを理由に早く帰宅した方が良いと言われる

- 「わからない又は該当しない」が 53.8%と最も高く、次いで「なかった」(30.3%)、「時々あった」(8.5%)と続いている。
- “あった”(「よくあった」または「時々あった」と回答した方)は、13.7%となっている。

⑩ 職場で成長できるような機会や助言をもらえる

- 「時々あった」が 36.3%と最も高く、次いで「わからない又は該当しない」(25.3%)、「よくあった」(19.3%)と続いている。
- “あった”(「よくあった」または「時々あった」と回答した方)は、55.6%となっている。

【問 24】 1日あたりの家事・育児にかかる時間

① 平日

- 無回答を除き、「30分未満」が 12.6%と最も高く、次いで「1時間以上～1時間半未満」(11.8%)、「2時間以上～3時間未満」(9.5%)と続いている。

② 休日

- 無回答を除き、「9時間以上」が 14.9%と最も高く、次いで「30分未満」(11.3%)、「1時間以上～1時間30分未満」(8.5%)と続いている。